

学校トイレ整備に関する取り組みについて（中間報告）

総合教育部 教育政策課
都市整備部 建築課

1. 政策等の背景・目的及び効果

近年、学校のトイレについては、より良い環境整備が求められており、本市においても令和5年度までに洋式化・ドライ化・ユニバーサル化の整備完了に向けて取り組んでいます。

今後の整備において、学校のトイレ内におけるからかいや多様化する人権課題等に対して、より多くの子どもたちがストレスなく学校のトイレを使用することができる整備を目指すため、今年度末に「(仮称)学校のトイレ整備における基本的な考え方」を策定することとしています。

この度、これまで実施してきた整備内容等を検証するために、学校のトイレを主に使用している児童・生徒・教職員・保護者を対象としたアンケート調査を実施しましたので、その調査結果をはじめ、今後の取り組みについて報告するものです。

2. 内容

(1) 学校トイレ整備に関するアンケート調査結果（1回目）

①調査対象者

対象者	対象人数	回答人数	回答率
市立小学校44校 4年生～6年生 市立中学校19校 1年生～3年生	20,314人	6,516人	32.0%
市立小学校44校、中学校19校の教職員	2,080人	738人	35.4%
市立小学校44校、中学校19校に子どもが通う保護者	—	4,766人	—

②調査方法

児童生徒、教職員：タブレット端末を利用したWEB無記名アンケート

保護者：スマートフォンを利用し、QRコードからのWEB無記名アンケート

※児童生徒には、自らのアンケート回答内容が教職員、保護者に見られないようになっている

ことを案内し、自らの思いを率直に回答できるようにした。

③アンケート内容

目的：実態把握・評価把握

(設問の主旨)

■児童生徒

- ・学校のトイレで気に入っているもの
- ・トイレ使用状況（行き方、ガマンの有無、小用時の使用方法等）
- ・全個室化の評価

■教職員

- ・学校のトイレにおける児童生徒の様子
- ・人権教育
- ・全個室化の評価

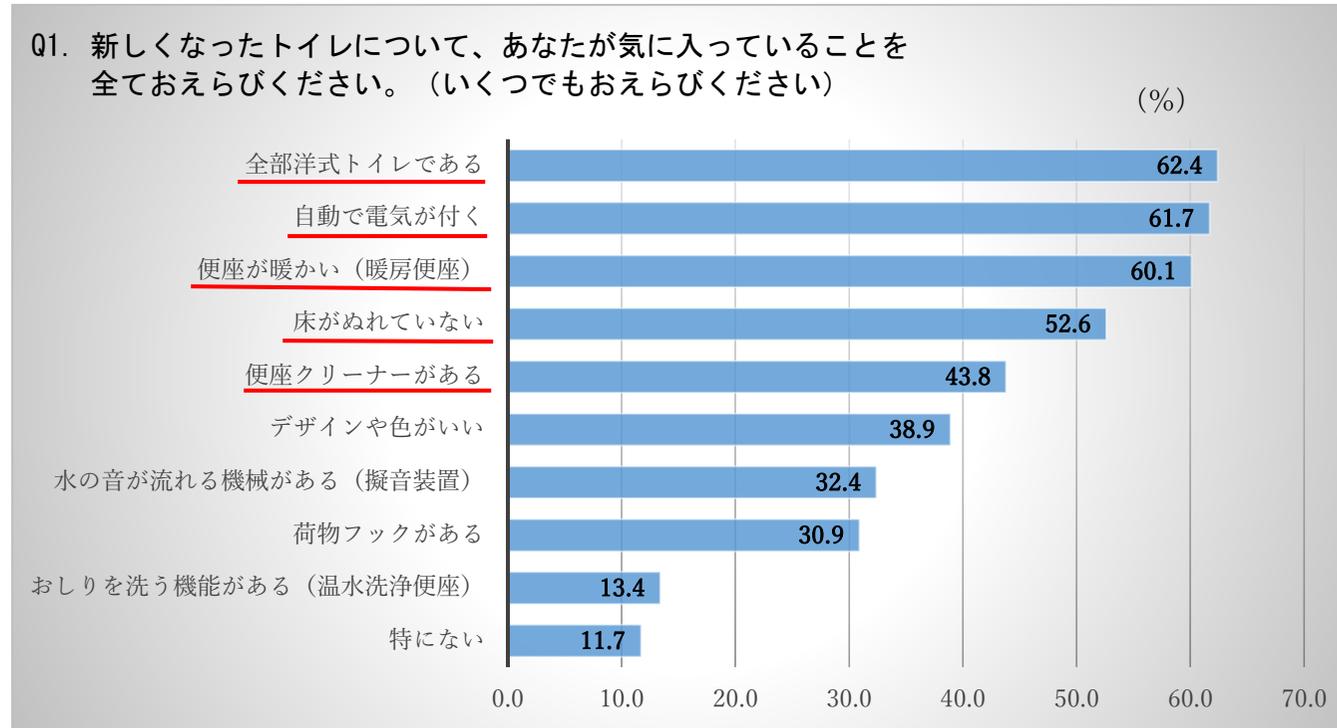
■保護者

- ・来校時に学校トイレに求めるもの
- ・学校トイレに関する子どもの状況
- ・全個室化の評価

(2) 調査結果

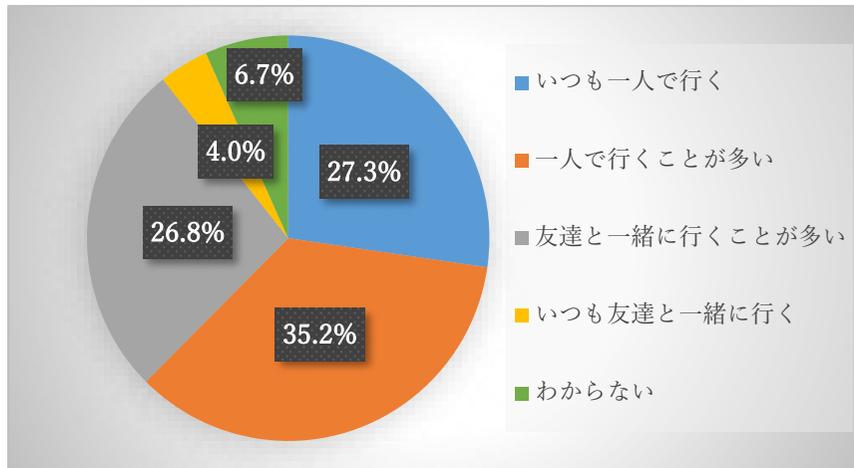
■児童生徒へのアンケート結果

Q. 新しくなったトイレについて、あなたが気に入っていることは？



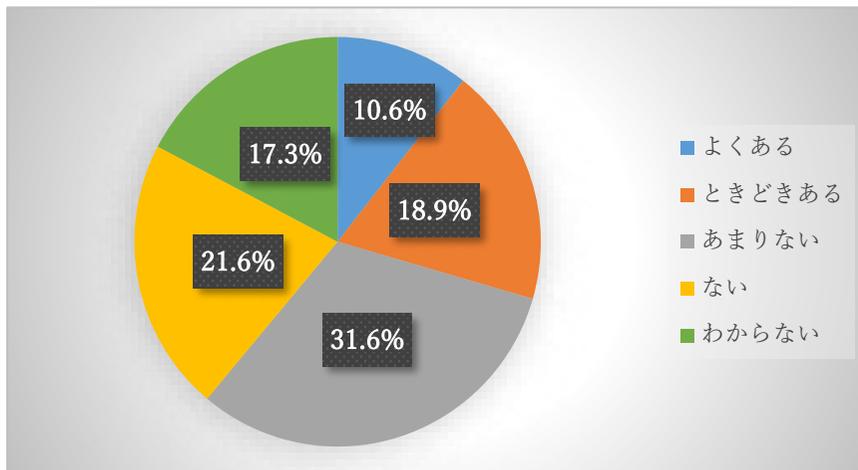
1位：全部洋式トイレ 2位：自動で電気 3位：暖房便座 4位：乾式化 5位：便座クリーナー

Q. 学校のトイレに行くとき、どのようにしていますか？



いつも一人で行く、一人で行くことが多い	62	5%
いつも友達と一緒に、友達と一緒にが多い	30	8%
(一人で行く理由)	(友達と行く理由)	
・一緒に行く必要がない	・誘われるから	
・一人の方が落ち着く	・一人だと怖い時もあるから	
・待たなくていい	・友達としゃべりながら行く	

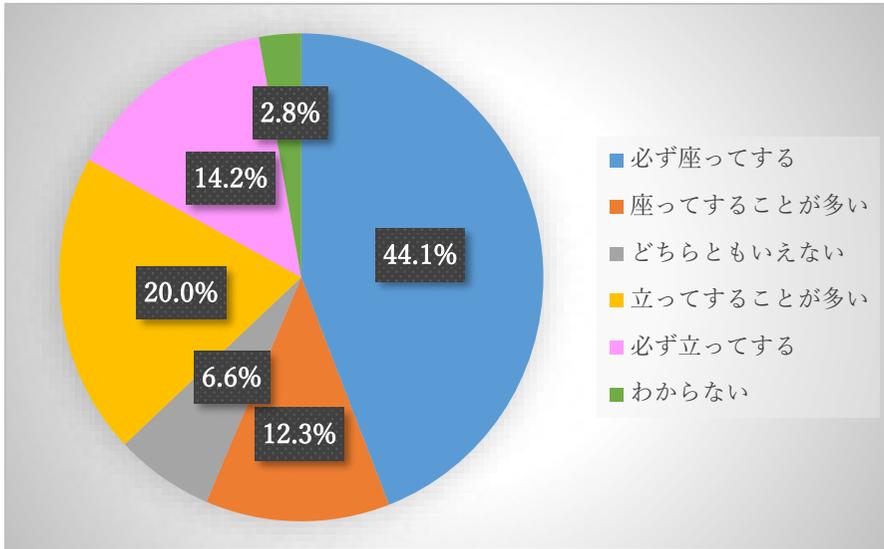
Q. 学校で大便がしたくなった場合、ガマンすることがありますか？



よくある、ときどきある	29	5%
ない、あまりない	53	2%
(ガマンする理由)		
・学校ではあまりしたくないから	・先生に言いにくいから	
・時間がかかるから	・恥ずかしいから	
・授業中だから・授業に遅れるから	・トイレが汚いから	
・タイミングが合わないから	・匂いが残って気になるから	
	・温水洗浄便座がないから	

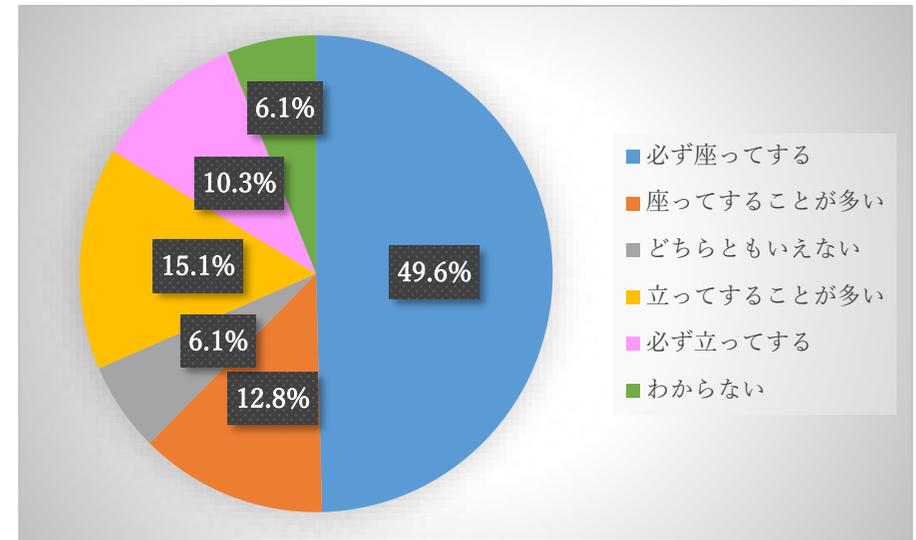
【男子のみ】

Q. 家のトイレで小便、どのように使用する？



Q. 学校で全個室化されたトイレで小便、

どのように使用する？



[家] 立っている派 34.2%
座っている派 56.4%

[学校] 立っている派 25.4%
座っている派 62.4%

(立つ理由)

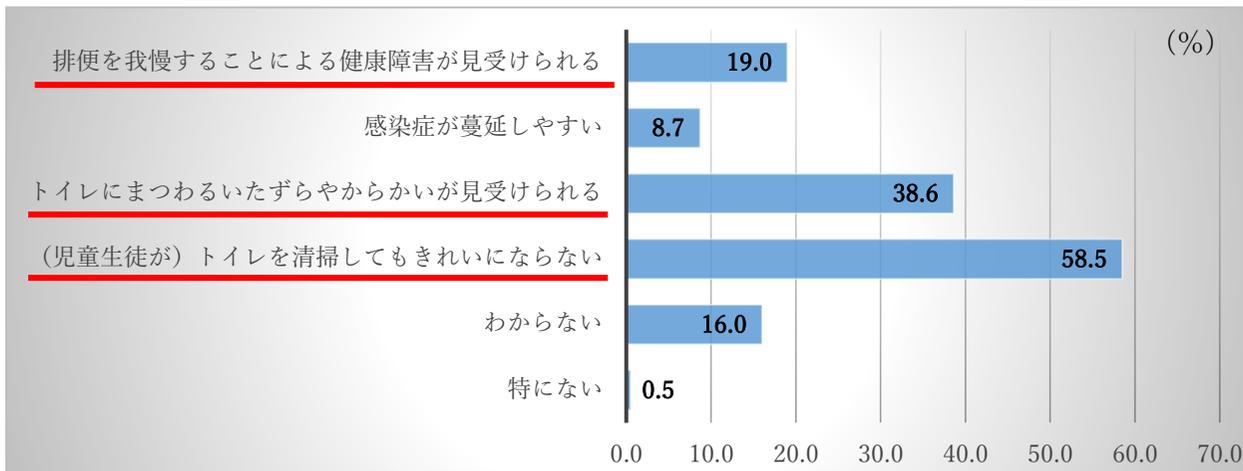
・座るのが面倒 ・座りたくない ・急いでいるから ・やりやすいから ・便座をさわりたくないから

(座る理由)

・いつも座っているから ・座ったほうがやりやすいから ・周りに飛び散る ・座っているルールだから
・立っているとやりにくいから

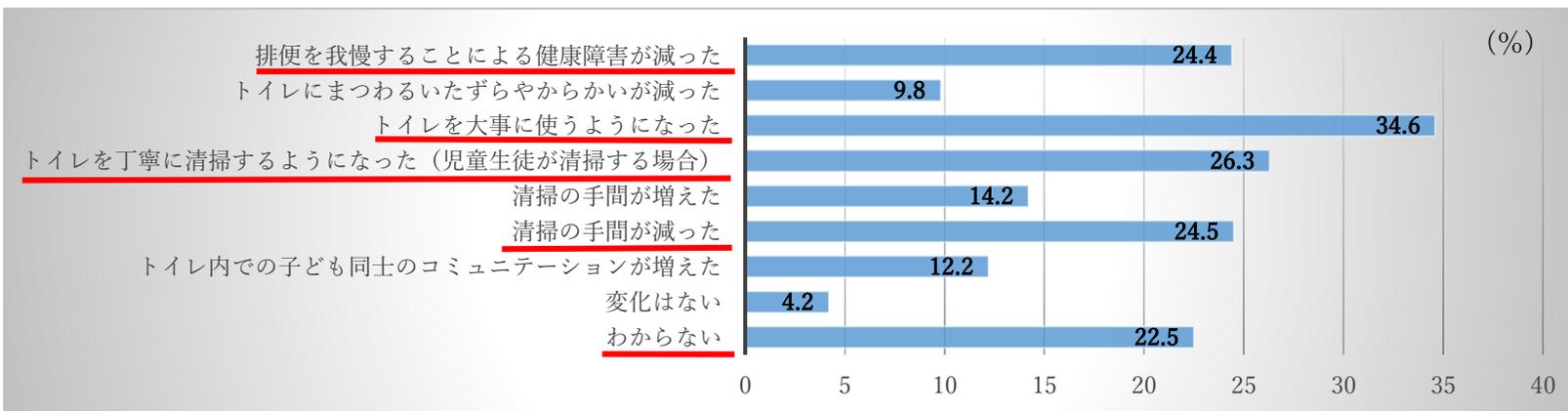
■教職員へのアンケート結果

Q. 学校のトイレにおける児童生徒の様子は？



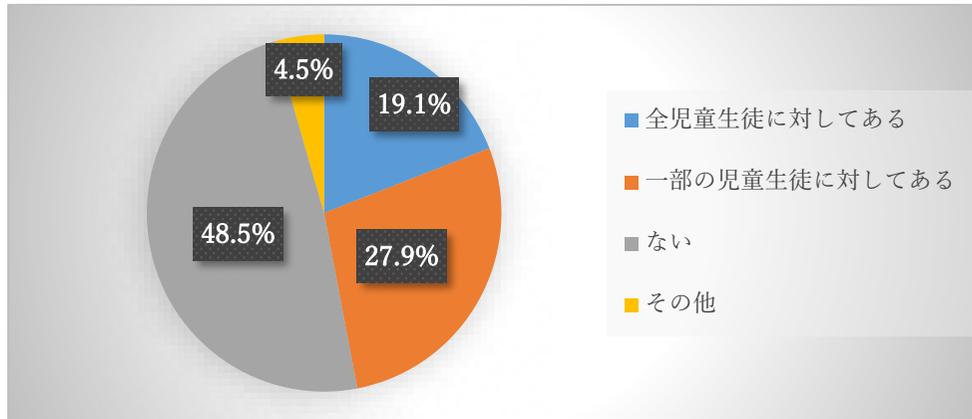
- 1位：清掃してもきれいにならない
 2位：いたずらやからかいが見受けられる
 3位：排便を我慢する

Q. トイレが新しくなることで児童生徒に変化がありますか？



- 1位：大事に使う 2位：丁寧に清掃する 3位：清掃の手間が減った 4位：ガマンが減った 5位：わからない

Q. 児童生徒に学校トイレに関する人権教育を行ったことがありますか？



ある 47.0%

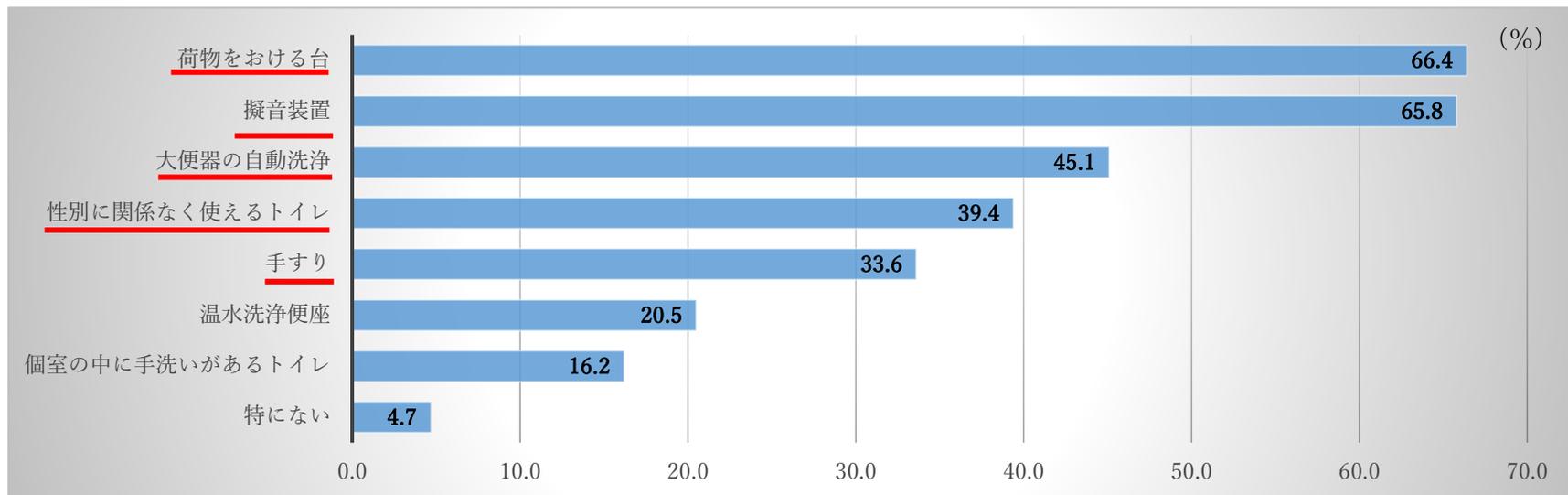
ない 48.5%

その他

- ・トイレと直結ではないが LGBT 教育はある。
- ・使用方法についてトイレとはどのような場所であるのか指導したことがある。

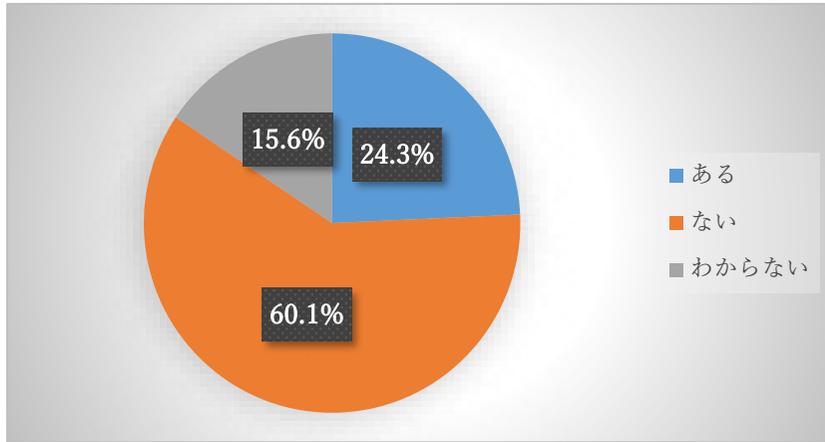
■保護者へのアンケート結果

Q. 来校時に学校のトイレにあったらいいもの？



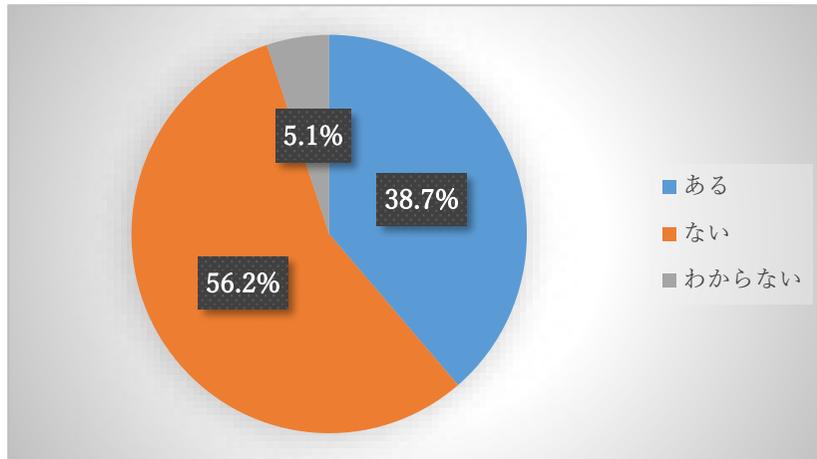
1位：荷物をおける台 2位：擬音装置 3位：大便器の自動洗浄 4位：性別に関係なく使えるトイレ 5位：手すり

Q. 子どもが学校でトイレに行けずガマンすることで健康被害に繋がっていると感じますか？



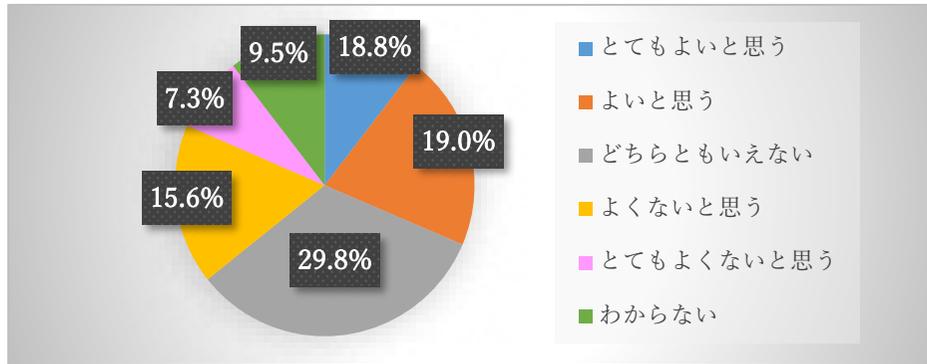
ある	24.3%
ない	60.1%

Q. 子どもから学校のトイレについて悩みを聞いたことがありますか？



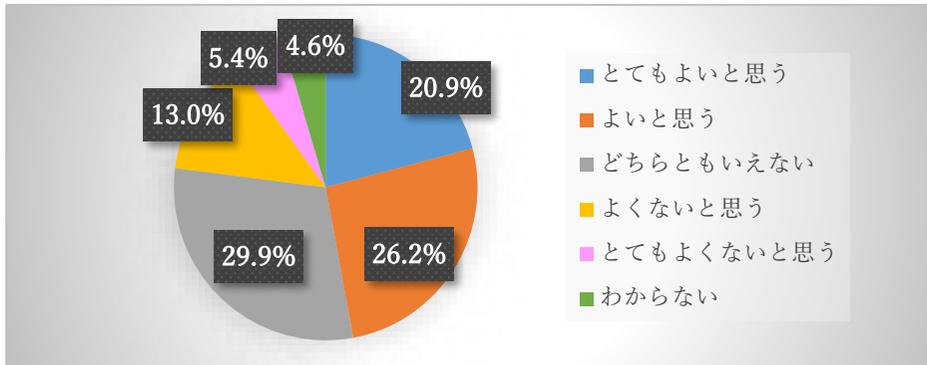
ある	38.7%
ない	56.2%

■学校の男子トイレで小便器がない全て個室の洋式トイレについてどう思いますか？



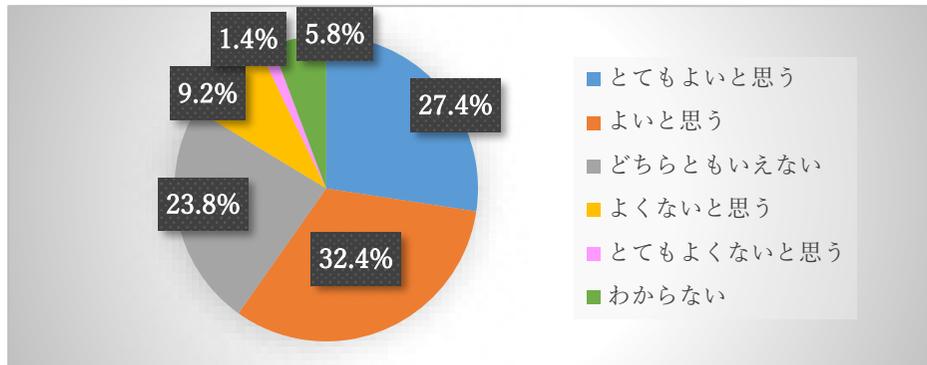
児童生徒

とてもよい、よい	37.8%
よくない、とてもよくない	22.9%



教職員

とてもよい、よい	47.1%
よくない、とてもよくない	18.4%



保護者

とてもよい、よい	59.8%
よくない、とてもよくない	10.6%

3. 実施時期等

(1) 経緯

学校トイレの洋式化・ドライ化・ユニバーサル化については、令和5年度（2023年）までの整備完了に向け、令和3年度（2021年）からの3か年で集中的に取り組んでいます。その中で、からかいや多様化する人権課題への対応として、一部の男子トイレを個室化とする整備にも取り組んでいます。

これらの整備内容を検証するために、有識者との意見交換を交えた上でアンケート調査を実施しました。

令和4年（2022年）	5月10日	学校施設整備検討委員会にアンケート実施報告
	5月26日	教育委員会協議会にアンケート実施報告
	5月30日	教育子育て委員協議会にアンケート実施報告
	6月1日	建設環境委員協議会にアンケート実施報告
	6月7日	校長会にアンケート実施報告
	6月29日	庁内関係課、性的マイノリティの方、学校のトイレ研究会とで意見交換（アンケート案の内容等について）
	7月下旬	アンケート実施
	8月24日	庁内関係課、性的マイノリティの方、学校のトイレ研究会とで意見交換（集計結果の意見交換・検証）

(有識者からの主な意見)

○学校のトイレ研究会

- ・男子が洋式トイレで小用をする時、立ってするのか座ってするのか、家と学校それぞれで確認すべき。
- ・トイレが新しくなることでガマンが少なくなることが考えられる。
- ・新しくなったトイレで喜ばれていることを聞くべき。

○性的マイノリティの方

- ・性自認と男女別トイレの使用については難しい問題がある。
- ・バリアフリートイレについては、使用できる人を限定して欲しくない。
- ・比較的男子トイレ内での課題が多い。

(2) 今後の取組み

① スケジュールについて

- 令和4年(2022年) 11月 教育子育て・建設環境委員協議会に集計結果と今後の取組みについて報告
- 11月～12月 2回目アンケート及び庁内関係課、性的マイノリティの方、学校のトイレ研究会と意見交換
- 令和5年(2023年) 1月～2月 「(仮称)学校のトイレ整備における基本的な考え方」(案)作成
- 2月 教育子育て・建設環境委員協議会に報告

② 2回目のアンケートについて

目的：1回目のアンケート調査結果を受けて更なる把握をするため（深掘り把握）

（設問の主旨）

■児童生徒

- ・学校のトイレをガマンすることに関する把握
- ・学校のトイレで汚れが気になる場所の把握
- ・全個室化：小用時の小便器・大便器の使用頻度についての把握

■教職員

- ・学校のトイレで汚れが気になる場所の把握
- ・児童生徒がトイレをガマンすることに関する把握
- ・全個室化：小用時の小便器・大便器の使用頻度についての把握

■保護者

- ・学校のトイレで汚れが気になる場所の把握
- ・児童生徒がトイレをガマンすることに関する把握
- ・全個室化：小用時の小便器・大便器の使用頻度についての把握

③ 学校のトイレ整備における基本的な考え方について

【背景と目的】

児童生徒にとって学校のトイレは、顔見知りの友達や先生（特定多数）と一緒に使用する場所です。一方、その他の施設（商業施設など）のトイレについては、基本的には顔見知りでない人（不特定多数）と一緒に使用する場所です。この様に学校のトイレは、いつ誰がどのトイレに入ったかを容易に知り得ることが出来る環境となっています。

今回、児童生徒に実施したアンケート調査結果から、6割以上が学校のトイレに行く時「いつも一人で行く、一人で行くことが多い」と回答しています。また、大便をガマンするとの回答が約3割でした。保護者からは、「子どもから学校のトイレについての悩みを聞いたことがある」と約4割の方が回答しています。更に教職員からは、「トイレにまつわるいたずらやからかいが見受けられる」との回答が約4割ありました。これは特定多数で利用する学校のトイレならではの結果であると考えられます。

この現状から、児童生徒がよりストレスなく学校のトイレを使用できるように、悩みや不安を抱える児童生徒の心情に配慮し、ソフト面、ハード面の両方の視点に対応した「(仮称)学校のトイレ整備における基本的な考え方」を示すものです。

※「(仮称)学校のトイレ整備における基本的な考え方」策定後、施設の劣化状況を調査の上、必要に応じて「枚方市学校整備計画」に基づき、実施していく。

【章立（案）】

第1章 ■背景・目的

■本市小中学校のトイレに関する調査データ

第2章 ■基本方針（本市小中学校のトイレに必要な配慮）

- ・インクルーシブ化について
- ・バリアフリートイレについて
- ・避難施設としてのトイレについて

第3章 ■基本方針を実現するための取組み

- ・ソフト面（人権教育・道徳教育など）
- ・ハード面（整備内容）

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち



5. 関係法令・条例等

小中学校施設整備指針

建築基準法

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 47.5千円

支出内訳 学校トイレ整備に係る意見聴取における報償金

47.5千円 (9.5千円×5件)

《財 源》 一般財源 47.5千円